

講義レジュメ

内容・テーマ	講 師	澤村 修(富山県立図書館)
社会教育施設の経営とネットワーク	期 日	平成30年8月7日

1 富山県立図書館における経営の実際

(1) 富山県の概要

- ・位置(本州中央北部、環日本海沿岸)、面積4,248 km²、人口約105万人、15市町村(10市4町1村)
- ・豊かな自然・産業・文化、コンパクトで住みやすい県、北陸新幹線の開業

(2) 富山県立図書館の概要(数値は平成30年4月1日現在)

- ・沿革：S15開館、S22富山県立図書館に改称、S44現在地に新築移転、H11リニューアルオープン(別館新築、資料センター増築)
- ・所在地：富山市茶屋町206-3(富山駅より西約5km、呉羽丘陵西側)
- ・施設：敷地9,802.36 m²、延床総面積7,775.55 m²
- ・職員：正規職員21名(うち司書有資格者15名)
- ・組織：館長、副館長、総務課、資料課、調査課、普及課
- ・蔵書：959,681点(うち一般図書813,733冊)
- ・予算：H30年度図書館予算114,489千円(うち一般図書35,200千円)

(3) 富山県立図書館の経営

① 運営方針・県民の生涯学習に対するニーズに広く応えるよう、図書館機能の充実を図る

- ・「調査研究のための図書館、図書館のための図書館、保存のための図書館」
- ・「新富山県教育振興基本計画(H29.4)」における位置づけ
基本施策5「生涯を通じた学びの推進」
：多様な学習活動の支援、県民の学習を支える基盤整備 など

- ② 利用状況（登録者数、利用者数、貸出冊数、調査相談数など）及び経営課題
 - ・ 来館者及び貸出冊数の減少傾向、少子高齢化の波、施設・設備の老朽化
- ③ 多様な利用者ニーズへの対応
 - ・ Web O P A C（オンライン蔵書目録）での検索、相互貸借サービス、インターネット予約、障害者向け郵送貸出、遠隔地利用者返却制度、古絵図・貴重書ギャラリー（デジタルアカイブ）、各種データベース、SNS（ツイッター） 他
 - ・ 企画展示、図書館見学、図書館活用講座、おはなし会、おすすめ絵本紹介 等
- ④ 業務改善に向けた取り組み
 - ・ 「アクションプラン」の策定と評価
 - ： 年度当初に作成、目標の明確化、年度末に点検・評価しHPにて結果公表
 - ・ 「ご意見箱」の活用、「利用者アンケート」の実施
- ⑤ 職員の研修
 - ・ 研修会等への職員派遣（職員会議での報告・情報共有）、各種講習会の講師

2 図書館ネットワークの構築

（1）県内市町村・高等教育機関図書館との連携

- ・ 相互貸借（連絡車の運行）、各種研修会・講演会の実施
- ・ 「富山県図書館情報ネットワーク」による円滑な連絡、情報の共有
- ・ 富山県図書館協会の運営（富山県立図書館が事務局担当）
 - ： 県内図書館の振興・発展（会報、各種事業、調査研究活動、研修支援）

（2）県内高校図書館との連携

- ・ 県内高校（含・特別支援学校）への団体貸出、高校図書館との意見交換会

（3）北陸地区県立図書館長会（北陸3県+新潟県）の事業

- ・ 交流展示会・・・同一テーマでの巡回方式による企画展示
- ・ 国際交流・・・ソウル特別市正読図書館との図書交換事業
- ・ 研修会・・・北陸地区図書館職員研修会の実施 など

※ 東海北陸地区県立・指定都市立図書館協議会（館長会議、相互貸借）

（4）環日本海諸国との国際交流

- ・ 中国遼寧省、韓国江原道、ロシア沿海地方の図書館との図書交換

（5）企画展示における関係機関（県関係課、文学館・博物館等）や諸団体との連携

- ・ 企画展示「富山県立図書館で調べる医療情報・闘病記」6/12～7/1

： 県健康課、県がん総合相談支援センター、富山福祉短期大学図書館の協力

3 今後の課題

- ・ 中長期ビジョンの策定
 - ： 県立図書館として目指すべき方向の明確化、社会の変化への柔軟な対応
少子高齢化・人口減少、高度情報化、バリアフリー化等
 - ・ 司書と利用者の育成・ ・ 司書の専門性・力量アップ、利用者マナーの向上
 - ・ 図書館としての魅力向上・ ・ 利用者の「読みたい、知りたい、調べたい」に
いかに応えるか
-

〔参考文献〕 富山県立図書館年報（平成 29 年度）、富山県立図書館要覧（平成 30 年度）